



# わたSHIGA輝く国スポ・障スポ開催基本構想の進捗状況



## 1 開催基本構想とは

両大会の開催準備および大会運営の取組や両大会終了後のレガシー創出の方向性を取りまとめた「開催基本構想」を令和元年5月に策定したもの。両大会の一年延期に伴い、開催年にかかる記載などについて、令和3年3月に一部改正した。

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

開催基本構想



湖国の感動 未来へつなぐ

わたSHIGA輝く  
国スポ・障スポ 2025

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

令和元年（2019年）5月 策定

令和3年（2021年）3月 一部改正

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

滋賀県開催準備委員会

### 【基本方針】

- ・ 次代を担う人育て
- ・ 活力に満ちた真心通い合う郷土づくり
- ・ 全国から滋賀を訪れる多くの人との交流
- ・ 県民総参加により、夢や感動、連帯感を共有
- ・ 県民がより一層身近にスポーツを楽しむことのできる環境づくり
- ・ 健康・体力の保持増進と競技力の向上
- ・ 障害に対する理解を深め、障害のある人の社会参加
- ・ ふるさと滋賀の活力をさらに高め、将来にわたり持続可能な共生社会の実現

### 【実施目標】

- 1 滋賀をスポーツで元気にする大会
- 2 滋賀の若者や女性が主体的に関わる大会
- 3 県民総参加でつくり、「滋賀の力」を伸ばす大会
- 4 滋賀の魅力を再発見し、地域の活性化やビジネスにつなげる大会
- 5 滋賀の子が、滋賀で育ち、滋賀で活躍する大会
- 6 滋賀の未来に負担を残さない大会
- 7 すべての人がともに支え合う滋賀を目指す大会

### 【取組】

- 7つの実施目標の実現に向けた取組
- ・ 開催準備の取組
  - ・ 大会運営の取組

### 【レガシー】

全国から多くの人々が集う『スポーツの祭典』を通じて滋賀の新たな時代の創造につながる『レガシー』を創出し、次世代へ継承

## 2 開催基本構想の進捗管理について

毎年度、開催基本構想の進捗状況等について、把握し、検証する。  
進捗状況の把握結果は、大会専用ホームページで公表し、進捗状況や課題等を広く情報共有するとともに、今後の開催準備や大会運営の検討に活用するものとする。



# わたSHIGA輝く国スポ・障スポ開催基本構想の進捗状況



## 3 開催基本構想の進捗状況(概要)

令和6年度における主な取組の進捗状況は以下のとおり。

### 実施目標1 滋賀をスポーツで元気にする大会

- ・メインスタジアムとなる平和堂HATOスタジアムなど競技会場となるスポーツ施設の整備を推進し、スポーツ活動や健康づくり活動を行う環境づくりを進めている。
- ・大会広報紙を発行するとともに、県内プロスポーツ公式戦の冠ゲームなど連携企画を実施し、スポーツへの関心を高める取組を実施した。
- ・両大会の運営補助を行う運営ボランティアの募集に際して、びわ湖マラソンとのボランティア共同募集を実施するなどボランティアに対する関心を高める取組を実施した。
- ・開催1年前イベントなどの啓発イベントを開催し、大会のPR活動と併せてスポーツ体験ができる機会を設けた。
- ・デモスポの紹介リーフレットを作成し、県民の参加を広く呼びかけた。

### 実施目標2 滋賀の若者や女性が主体的に関わる大会

- ・両大会イメージソング「シャイン!!」を活用した「国スポ・障スポ教室」を小・中学校で実施した。
- ・子ども・若者世代の関心を高めるため、開催1年前イベント等において、スポーツ体験を実施したほか、ファミリー世代が参加するイベントで広報啓発活動を行った。
- ・小学校上学年向け広報誌「こども版シャイン!!」を新たに発行した。
- ・SNSでは、マスコットキャラクターを積極的に活用し、ファミリー層に届くような情報発信に努めた。
- ・女性アスリート特有の課題（月経課題等）を抱える選手に対し、受診等に要する費用の補助を行うなど、選手・指導者の活躍を支援した。

#### 【開催1年前イベント】



#### 【こども版シャイン!! 創刊】



#### 【国スポ・障スポ教室（草津小学校）】







# わたSHIGA輝く国スポ・障スポ開催基本構想の進捗状況



## 3 開催基本構想の進捗状況(概要)

### 実施目標3 県民総参加でつくり、「滋賀の力」を伸ばす大会

- ・ マスコットキャラクター、愛称・スローガンやイメージソングを積極的に活用し、テレビ・ラジオCMを利用した啓発、大会広報誌の発行、公式ポスターの制作等、機運醸成、認知度向上に努めた。
- ・ 企業・団体等に寄付・協賛、広報啓発に協力いただき機運醸成につなげた。
- ・ 広報誌への募金協賛記事掲載やイベントでの募金グッズ販売等、寄附協賛の推進を図るとともに、企業協賛物品のお披露目を行った。
- ・ ボランティア参加者記念品を発表するなどボランティアの確保に努めるとともに、研修会を実施しボランティアの養成にも取り組んだ。
- ・ 花育てリレーの試行栽培、リハーサル大会での飾花などを通じて、花いっぱい運動を推進した。



### 実施目標4 滋賀の魅力を再発見し、地域の活性化やビジネスにつなげる大会

- ・ 県内学校に制作協力を依頼し、応援手作りのぼり旗を作成した。
- ・ 民間企業の協力のもと運営ボランティアの「おもてなし研修」を行った。
- ・ 139事業を文化プログラムとして登録し、令和7年1月より県内各地で開催するとともに、大会ホームページやSNS等を活用した情報発信を行っている。
- ・ 県内発の伝統工芸である彦根仏壇の技術力や木地師による技術力を生かした炬火トーチの制作した。また、信楽焼を用いて、各市町の子どもの参画による「炬火受皿づくり」を実施することで、地場産業に触れる機会を提供した。
- ・ 大会参加への記念品として、信楽焼の陶器マグネットを作成し、大会で配布することとした。また、大会では「わたSHIGA輝く賞」として県内特産品を授与し、選手を称える予定。
- ・ SNSキャンペーンでは、両大会の広報に併せて滋賀の特産品等を景品にするなど、滋賀の魅力を発信した。
- ・ 大会マスコットキャラクターを使用したポロシャツ、タオル、ピンバッジ、ぬいぐるみが販売された。

【リハーサル大会での飾花】



【応援手作りのぼり旗の作成】





# わたSHIGA輝く国スポ・障スポ開催基本構想の進捗状況



## 3 開催基本構想の進捗状況(概要)

### 実施目標5 滋賀の子が、滋賀で育ち、滋賀で活躍する大会

- ・ 第78回佐賀国スポでは、県内高校等で競技力向上に取り組んだ少年選手や滋賀出身のふるさと選手などの活躍により、前年の大会を大きく上回る成績を収めることができ、前回のびわこ国体以降、最上位となる天皇杯順位8位という成績を収めることができた。
- ・ 開催1年前イベントをはじめ、イベント等でスポーツ体験を実施し、スポーツ実践の機会を設けた。

【佐賀国スポでの活躍】



【イベントでのスポーツ体験】



【マイボトル持参の呼びかけ】

【ボランティア募集ポスター】

### 実施目標6 滋賀の未来に負担を残さない大会

- ・ 「わたSHIGA輝く国スポ・障スポMLGs宣言」に基づき、再生素材を利用したスタッフウェアの作成やマイボトル持参の呼びかけなど、環境配慮の取組の実践・検討を進めた。
- ・ クリーンアップ運動について、清掃活動に参加するとともにオリジナル軍手を市町に提供し運動を推進した。
- ・ 選手や式典参加者等の負担軽減などこれまでにない新しい視点で、コンパクトでありながらも中身の充実した式典の実施・運営に向けた式典実施要項を策定した。

### 実施目標7 すべての人がともに支え合う滋賀を目指す大会

- ・ 運営ボランティア研修において、障害者サポートの研修を行った。
- ・ 障スポ各競技の参加選手枠を充足する選手を確保するとともに、選手の育成・強化のため、新規スタッフの確保や関係団体への支援を強化した。
- ・ 障害者およびその介助者の式典観覧にかかる入場料金を初めて無料にした。
- ・ 選手に授与する大会メダルデザインのデザインに、障害者芸術において先駆的な取組をされている事業所に所属する作家の作品を取り入れたデザインを選定した。



【選手の活躍支援】







# わたSHIGA輝く国スポ・障スポ開催基本構想の進捗状況



## 4 レガシーの創出に向けて

開催基本構想において、7つの実施目標それぞれに、次世代に引き継ぎ、定着を目指すレガシーの創出について、方向性をまとめている。

実施目標	レガシー
① 滋賀をスポーツで元気にする大会	① 生涯にわたり健康でスポーツに取り組む滋賀の人々
② 滋賀の若者や女性が主体的に関わる大会	② スポーツで輝く滋賀の子ども・若者・女性
③ 県民総参加でつくり、「滋賀の力」を伸ばす大会	③ 連携・協働で伸ばされた「滋賀の力」
④ 滋賀の魅力を再発見し、地域の活性化やビジネスにつなげる大会	④ 魅力と活力にあふれる滋賀
⑤ 滋賀の子が、滋賀で育ち、滋賀で活躍する大会	⑤ 全国や世界の舞台で活躍する滋賀のアスリート
⑥ 滋賀の未来に負担を残さない大会	⑥ 持続可能な滋賀への貢献
⑦ すべての人がともに支え合う滋賀を目指す大会	⑦ 人がともに支え合う滋賀

### レガシー2025創出推進本部の立ち上げ

上記の実現に向けて、部局を横断した施策の立案・調整を目的とした「レガシー2025創出推進本部」を令和6年4月に立ち上げ、令和6年度は計4回の会議を開催し、令和7年度の具体的施策の検討などを行った。

わたSHIGA輝く国スポ・障スポは、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、すべての人が様々な場面で主役として光り輝く大会を目指している。両大会には多数の方々が県内外問わず参加され、滋賀県の魅力を全国に発信する大きなチャンスである。また、同じく2025年に開催されている大阪・関西万博のテーマとして、「いのち輝く未来社会のデザイン」があり、「輝く」という言葉を共通項にして検討を進め、全庁的に各部局での令和7年度の施策構築が図られた。

2025年を滋賀県にとって“輝く”豊かな未来をともにつくるためのレガシー実現に向けた節目の年に